

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	二条小学校	階数	地上4F
建設地	札幌市中央区南2条西15丁目291番地98他	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	1地域	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所、学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2015年6月1日
敷地面積	13,554 m ²	作成者	菅原統太
建築面積	4,313 m ²	確認日	2015年6月2日
延床面積	10,350 m ²	確認者	加藤誠



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 97%
③上記+②以外の 93%
④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.6

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項

総合	
<p>・地域の風景を継承・高密度でコンパクトな施設</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>・建物形状をシンプルにし、外断熱工法を採用、放射式暖房との併用により均質で安定した室内環境を確保しながら暖房エネルギーを削減。・自然エネルギーの利用として吹抜上部にハイサイドライトを採用、自然光を取り入れ照明エネルギーを削減。・ソーラーパネルを設置し、電力量の削減。照明器具は全てLED光源を採用することで照明電力の削減</p>
<p>B 省資源等</p> <p>・外断熱採用により躯体を保護し長寿命化を図る。・可変可能な乾式壁を多用し、将来的な施設改修に対応。</p>	<p>C 緑化</p> <p>・既存樹木の保存(校木ハルニレの保存)と植樹により緑豊かな施設とする。</p>
	<p>D 雪処理</p> <p>・庇による落雪対策。・雪庇防止金物による雪庇対策。・十分な堆雪スペースの確保(グラウンド)</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される